

一人につき2項目までを要約して掲載しています。各議員の全質問事項は、市議会ホームページ及び録画配信をご覧ください。また、提出された原稿を尊重し、表現は統一されていません。



▲市議会HP



▲録画配信
(2月27日一般質問)



交通

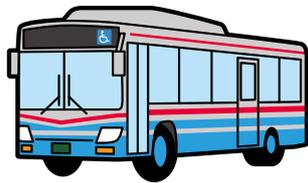
中川幸廣 議員 (白和) 路線バス運休と バス会社への支援は

答弁…交通事業者の運転手確保を支援していく

問 丸建つばさ交通㈱が3月31日で市内の運行を休止する。原因は、利用者の少なさと、市からの支援が何も無いためと考える。

利用者からは再度の運行を望む声が多いが、市としてどのように考えているか。

答 丸建つばさ交通㈱へは、路線バスの運行開始時にノンステップバスの導入補助や時刻表の配布、市公式HPでの周知等の支援を行った。7年度から交通事業者の運転手確保の支援をしていくため、同社が運行再開した際には、交付対象事業者として支援をしていく。



農業 水田活用の直接支払交付金の状況は

答弁…農業者の経営安定化に努めていく

問 水田活用の直接支払交付金の内容について伺う。また、交付要件の見直しによる市内の水田耕作者への影響はあるのか。米農家の収入は非常に低いと言われているが、今後、米農家に対してどのような指導をするのか。

答 水田で麦、大豆等の需要拡大が見込まれる作物を販売目的で生産する農業者に対し、国から交付金が交付される。交付要件の見直しにより、農業者の負担が軽減されると考える。市では、カメムシによる米の被害が拡大していることから防除に係る支援を実施する。



教育

齋藤信治 議員 (WAKABA) 教育支援センターを フリースクールに

答弁…さまざまな可能性を考え研究していく

問 教育支援センターは、自学自習できる子どもしか利用できない。誰もが安心して利用できる居場所としての安価なフリースクールにできないか。もしくは閉校後の大山小を利用してフリースクールやイエナプラン教育*を実施できないか。

答 教育支援センターの在り方については、他市町村の先進的な取組を注視するとともに、不登校児童・生徒や保護者のニーズを把握しながら、学びの場や居場所としての支援の拠点となるように努めていく。大山小の跡地利用については、市長部局で検討中である。



▲録画配信
(2月26日一般質問)



水道

浜口清志 議員 (日本共産党) 8年度からの 料金改定の理由は

答弁…県水受水費の改定に対応するため

問 水は、命を支えるものである。市では、8年度から水道料金の改定が予定されているが、なぜか。

県水受水費の値上げが6年12月の県議会定例会で可決され、8年4月以降、1㎡当たり約21%引き上げられる。その理由は。

答 県水受水費の改定により、水道事業は大幅な業績悪化が見込まれるため、水道料金の改定に向けて検討を行っていく。

県営水道は、物価高騰や給水量の減少に伴い業績が悪化する中、事業を継続するために27年ぶりに県水受水費の改定を行った。



▲録画配信
(2月27日一般質問)

*ドイツで始まりオランダで広がった、一人一人を尊重しながら自律と共生を学ぶオープンモデルの教育のこと。